2026年11月27日

各　位

会　社　名　株式会社GENDA
代表者名　代表取締役社長CEO　片岡　尚
（コード番号：9166　東証グロース市場）
問合せ先　常務取締役CFO　渡邊　太樹
（E-mail investor_inquiries@genda.jp）

よくある質問と回答（2026年11月）

日頃より、当社へご関心をお持ちいただきありがとうございます。今月、投資家様より頂戴した主な質問とその回答について、下記のとおり開示いたします。

なお、本開示は投資家様への情報発信の強化とフェア・ディスクロージャーを目的に、毎月月末を目途に開示するものです。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性がありますが、直近の回答内容を最新の当社方針として回答を記載しております。

なお、過去の「よくある質問と回答」は当社ホームページをご覧ください。
https://genda.jp/ir/faq/

Q1. 国内アミューズメントが好調な理由と、今後も好調が続くかを教えてください。

当社の国内アミューズメントは、推し活ブームを背景としたプライズゲーム市場の伸びを追い風に、M&A や新規出店による店舗網の拡大と、「GiGO 限定景品」などを通じた各店舗の集客力の向上が両輪となり、好調に推移しています。

2027 年 1 月期第 2 四半期累計の国内アミューズメントの調整後 EBITDA は、商戦期の「GiGO 限定景品」の好調などにより計画を上回りました。既存店売上高成長率も、2026 年 10 月は前年同月比 115%（曜日調整後）と高い水準を保っています。

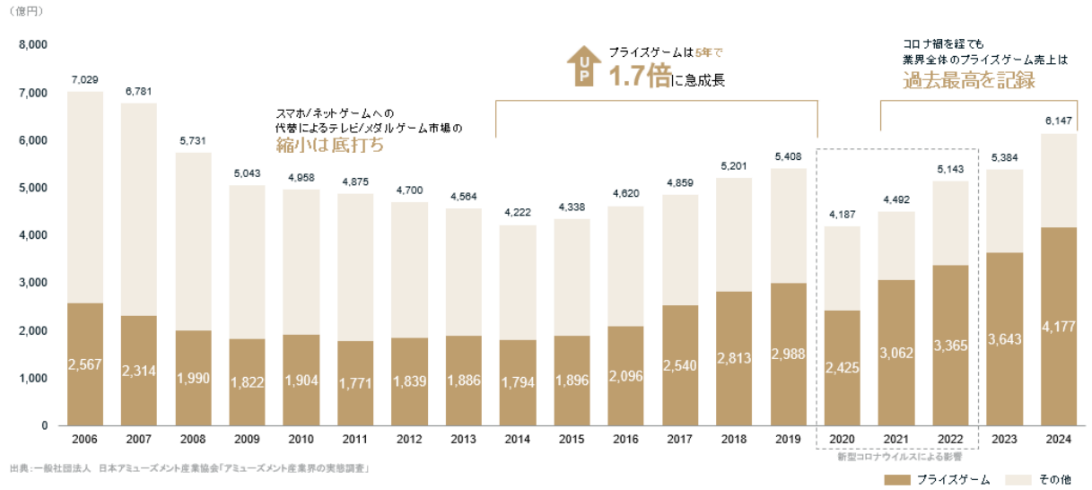
こうした成長の背景には、ゲームセンター業界全体でのプライズゲームの拡大があります。

一般社団法人日本アミューズメント産業協会の調査によると、2024 年度のゲームセンター市場規模（売上高計）は 6,147 億円（前年度比 114.2%）となりました。

このうちプライズゲームの売上高は 4,177 億円と、市場全体を上回るペースで伸びており、構成比は 68.0%に達しました。

プライズゲームの売上高は、推し活需要の定着や顧客層の拡大を背景に 2014 年度を底として拡大基調にあり、2014 年度の 1,794 億円から 10 年で 2 倍以上の規模となっています。

2006 年～2024 年のゲームセンター市場規模



当社はこの市場拡大の追い風を最大限に取り込むべく、さまざまな施策に取り組んでいます。

中核となるのが、他社のゲームセンターでは手に入らない「GiGO 限定景品」で、年間約 200 アイテムを展開しています。

2026年6月に、3年連続となる「TWICE LOVELYS」の「GiGO限定景品」を展開した際には、初日から多くのお客様にご来店いただきました。こうした注目度の高いIPとのコラボレーションが、ファンの皆様の来店を後押ししています。

このような「GiGO限定景品」を継続して展開できるのは、M&Aと新規出店で店舗網を広げてきたことにより、IPを持つ版元の皆様との協業の機会が増えているためです。

M&Aによって「GiGO限定景品」を取り扱える店舗数も増えており、GiGOの認知度は2026年3月までの1年間で約2倍に高まりました（注：当社実施のアンケート結果に基づく数値）。

店舗網の拡大が「GiGO限定景品」の企画力を高め、さらに多くのお客様の来店につながるという循環が、事業の成長を支えています。

詳しくは下記資料もご覧ください。
2026年3月12日「2026年1月期通期 決算説明資料」7ページ
https://ssl4.eir-parts.net/doc/9166/ir_material_for_fiscal_ym/200368/00.pdf#page=7

アミューズメント施設「GiGO」の立地は、大きく「都市駅前」「郊外」「ショッピングセンター（SC）」の3つに分けられます。

当社はこれら3つの立地すべてに店舗を展開していますが、特に都市駅前の需要を取り込めていることが、他社との差別化要因となっていると考えています。

都市駅前は、推し活を目的とする若年層のお客様に特に多くご来店いただける立地です。この立地で旺盛な推し活需要を取り込めていることが、当社の強みとなっています。

月ごとの業績は、天候や前年同月のIPキャンペーンの有無などで変動することがある一方で、前述のとおりプライズゲーム市場は10年にわたり拡大を続けています。推し活需要の定着という構造的な変化に支えられていることから、当社では、こうした需要が短期的に大きく縮小する可能性は低いと考えています。

今後も、事業承継ニーズに応えるM&Aや新規出店による店舗網の拡大と、「GiGO限定景品」の企画・展開を通じて、国内アミューズメントの成長を目指してまいります。

以　上